

令和4年3月15日

椎谷 哲夫 様

可児市議会議長 山田 喜弘



お問い合わせに対する回答について

日頃は、本市議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市議会から提出した「選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書」については、令和3年8月13日に提出された「選択的夫婦別姓制度について法制化を求める請願」を受けて、本議会において建設市民委員会から提案があったものです。

令和3年9月28日の本会議における意見書の審議の際には椎谷様のご指摘されたように「法改正により通称使用の権利拡大を容認すると答えている24.4%の方は、夫婦別姓を容認しているわけではないのに容認する割合に合算され66.9%と表記されている」という議員からの発言及び討論もありました。

本市議会としては、数字の解釈が分かれることもふまえた上で採決を行い、賛成多数で意見書を可決しております。

可児市議会としては内閣府のデータを引用しましたが、意見書の主旨は国に議論を求めるものであります。